

急激な物価高騰から市民生活を守るため、物価高騰に直撃されている年金世帯を含む新たな住民税非課税世帯への給付や、より幅広い低所得者世帯への給付のほか、子育て世帯への追加給付などきめ細かい支援を進めるとともに、今年4月から給食費値上げ分の補助を行います。

物価高騰への対応
子どもたちの未来を拓く環境づくり

今年4月に子ども家庭センターを設置し、すべての妊産婦や子育て家庭、子どもに対して一体的な相談支援を行います。また、潮平小学校と隣接する場所に潮平児童クラブを開設し、放課後の安全・安心な居場所を確保します。
子育て家庭の負担軽減につなげるため、子育て支援アプリ「母子モ」に予防接種記録の確認などができる機能を追加します。

ヒト・モノ・情報を呼び込む、真栄里地区での新たなまちづくり

物流団地等造成事業では、企業や住民を呼び込むことで、雇用拡大や定住促進、産業振興などを図ります。この事業の推進力を高めるため、ノウハウを有する企業とまちづくりパートナー契約を結ぶほか、新たに真栄里地区事業推進局を設置します。

南部病院跡地等造成事業では、旧南部病院跡地一帯において、「活力を生み、共助を育むまちづくり」を開発コンセプトとした、市民ふれあいゾーンと企業誘致促進ゾーンで形成する新たなエリアの創出に取り組みます。

重点施策

「物価高騰への対応」、「子どもたちの未来を拓く」、「スポーツ先進都市」、「防災・減災」、「真栄里地区での新たなまちづくり」の5つの項目を設定し、関係する重点施策に取り組みます。

笑顔があふれ、人が躍動するスポーツ先進都市の創造

西崎運動公園のさらなる魅力や機能向上を目指し、全天候で利用できる屋内多目的運動場の整備を継続するとともに、屋内で投球練習ができるブルペン、ボルダリングを楽しめる壁面、幼児期の子どもたちが楽しめる遊具など、複合的な機能を有する施設を整備します。

緊急事態に備え、防災・減災に取り組む

市民一人一人の防災意識の高揚などを図るため、3年に1度の総合防災訓練を実施します。

大規模災害から命を守るため、市内に設置している84基の防災行政無線のうち、老朽化している75基を更新し、防災情報伝達手段の機能強化を図ります。

潮平地域の今後の冠水被害軽減を図るため、雨水が流れ込む西崎東川の堆積土砂の撤去に取り組みます。

令和6年度 施政方針

市政運営の基本姿勢

未来ある子どもたちに 誇れるまちづくり

現在、本市の人口は微増傾向ですが、昨年、国立社会保障・人口問題研究所が発表した将来推計人口によると、2020年の61,007人から、2050年には58,237人に減少する推計となっています。

人口減少・少子高齢化は、地域の経済・産業活動の縮小につながり、税収の減少、社会保障の増加による財政の逼迫など、地域経済や市民生活にさまざまな影響を及ぼすことが危惧されています。

人口減少を抑制し、本市が持続的に発展していくには、誰もが「住みたい・住み続けたい」と思えるまちづくりを進めていくことが重要です。そのために、真栄里地区への企業誘致などで働く場の確保や産業振興、定住促進を図り、新たな活力を生み出し、将来の魅力あるまちづくりを進めていく決意です。

また、若い世代が安心して出産・子育てができる環境づくりや、台風や地震などの自然災害から市民のいのちと暮らしを守るため、自助・共助・公助による災害に強いまちづくりに取り組みます。さらに、地域のつながりや絆を深め、地域活動を活性化させていくため、コミュニティー施設の充実・強化にも積極的に取り組みます。

10年先、20年先を見据えて、若者や子育て世代から選ばれるまち、子どもからお年寄りまで誰もが安心して暮らせるまちを目指すとともに、市民のいのちと暮らしを守り抜くことを大きな使命として、重点施策や主要施策を推進します。

令和6年3月4日

糸満市長
當銘 真栄
とうめ しんえい

※糸満市議会の令和6年第2回定例会初日に當銘真栄市長が令和6年度施政方針を述べました。
ここでは、その要旨（一部）を紹介します。